

2025年1月16日

加盟校学校長様

関西大学中等部
校長 松村 湖生

第14回関西大学初等部（中等部）研究発表会のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、下記の通り本学初等部が研究発表会を開催いたします。この研究発表会には、中等部も公開授業及び研究協議会を実施させていただきます。

つきましては、お忙しい中とは存じますが、加盟校の先生方にもご参加いただきたくご案内申し上げます。

なお、詳細につきましては別紙をご参照ください。よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

日 時：2025年2月1日（土）9時10分～16時（受付開始8時40分）

場 所：関西大学高槻ミューズキャンパス
大阪府高槻市白梅町7番1号

内 容：全体研究会（学校長あいさつ 研究概要説明 初連絡）

公開授業①

公開授業②（中等部は公開授業②で授業を実施します）

協議会①（中等部は国語、社会、理科の協議会を実施します）

協議会②（中等部は数学、英語、保健体育の協議会を実施します）

全 体 会

参加費：2,000円

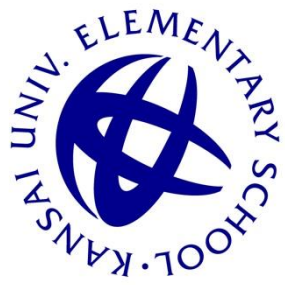
申込み：以下のサイト（初等部HP）よりお申し込みください。（締め切り1月24日17時）

<https://www.kansai-u.ac.jp/elementary/>

研究紀要・指導案等の資料は、研究発表会当日に公開・配布いたします。

（問い合わせ）

関西大学中等部高等部
研究開発部主任 枳 慶樹
072-684-4329



第14回 関西大学初等部研究発表会

2025年2月1日（土）

クリティカルシンキングを高める授業デザイン ～STEAM化を手立てとする探究的な学習を通して～

■ 講師

黒上 晴夫 先生
(関西大学総合情報学部)

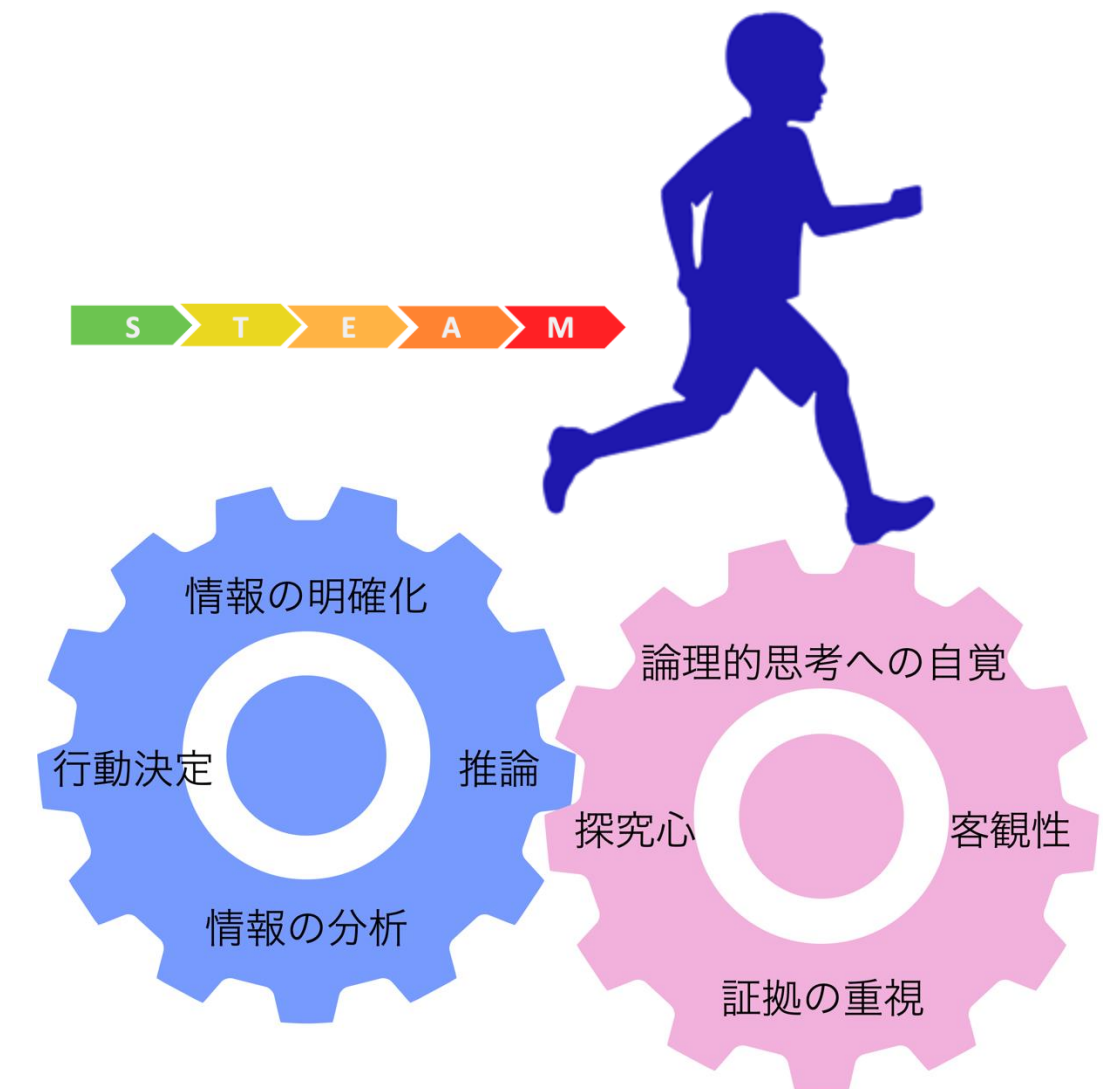


■ 研究の概要

本校では、2010年の開校以来、“考えることを考える”ミューズ学習を軸にして「論理的思考力」の育成をめざした研究に取り組んできました。また、一昨年度からは、STEAM化を手立てとする探究的な学習を通して、「クリティカルシンキングを発揮する子どもの育成」の研究を進めてきました。

今年度は、「クリティカルシンキングを身につけた子ども」「学びに自覚的になり、価値や意味を見出し、次の学びへと向かおうとする子ども」の姿を実現するため、改めて授業デザインに焦点化し、研究に取り組んできました。

研究発表会当日は、子どもの姿を通して、皆様と共に研究を深めていきたいと考えております。ぜひ、ご参加ください。



関西大学初等部校長 長戸 基

● 2次案内（Web申し込み）は11月下旬を予定しています。 <https://www.kansai-u.ac.jp/elementary/>

第14回
 関西大学初等部
 研究発表会
 2025年2月1日(土)

クリティカルシンキングを高める授業デザイン
 ~STEAM化を手立てとする探究的な学習を通して~

■講師

黒上晴夫 教授 (関西大学総合情報学部)

| | |
|-------------|---|
| 8:40- | 受付 |
| 9:10- 9:30 | 全体研究会 1) 学校長あいさつ 2) 研究の概要説明 3) 諸連絡 |
| | 移動 |
| 9:45-10:30 | 公開授業① |
| | 移動 |
| 10:50-11:35 | 公開授業② ※J1~J3は10:50-11:40 |
| 11:35-12:45 | 昼食 |
| 12:45-13:30 | 協議会① (公開授業①・中等部3本の授業) |
| 13:45-14:30 | 協議会② (公開授業②・中等部3本の授業) |
| 14:45-15:45 | 全体会 (授業講評) |
| 15:45-16:00 | 閉会行事 |

| 公開授業① 9:45-10:30 | | | | | |
|------------------|-------|-----------|--|---|------|
| 学年・組 | 授業者 | 教科 | 単元名・教材名 | 単元の概要 | 協議会1 |
| 1-1 | 荒木裕亮 | 国語 | 赤ちゃんくらベブックをつくらう 『どうぶつの赤ちゃん』 | 『どうぶつの赤ちゃん』をSTEAM化し、学んだ構文や表現を意識しながら、オリジナルの説明文を書く。提示された具体例とその内容について、読者への「分かりやすさ」という視点で検討することで論理的思考への自覚・客観性の土台をつくる。 | 荒木 |
| 1-2 | 山田幸生 | 道徳 | わたしのせいちょう | 国語科と関連づけた生活科「もうすぐ2年生」の学びを進めるなかで、子どもたちから出された自分の成長に関する「はてな」を取り上げる。多面的にみた事柄に対して、自分なりの思いをもち、論理的に友だちに伝えようとする話し合い活動の土台をつくる。 | 山田 |
| 2-1 | 富本浩史 | 体育 | 「つなごー」 ~動きを分析的に~ | これまで学んできた安全の観点からボールゲームについて迫る。その中で、自分の動きを「ボールを持っているときの動き」と「ボールを持たないときの動き」の視点で分析し、客観性をもってチームの動きを高める展開をデザインする。 | 富本 |
| 3-1 | 石井芳生 | 社会 | 高槻に鉄道が通ったころの 人々の暮らし | 昔の暮らしをSTEAM化し探究したことを元に、約150年から80年前の様子や当時の道具について調べ、人々の暮らしがどのように変化したのか、表現し合う授業デザインにより、論理的思考の自覚を促す。 | 石井 |
| 4-1 | 堀 力斗 | ミュージズ | わざを組み合わせ て解決しよう ~これから大人になる自分 が大切にしたいことは何か 考えをのべよう~ | AIが生成した「こんな大人になりたい」というスピーチ原稿から「自分らしさとはなにか」という問いをもち、多くの人やものとの出会いを通して価値をとらえなおし、「大切にしたい生き方」についてわざを組み合わせる考えを可視化する。 | 堀 |
| 5-1 | 尾崎正彦 | 社会× 算数 | どこを残す？本四連絡橋 | 2050年財政破綻の危機にある日本を救うためSDGsの観点から淡路島ルートへの提案する。これに対して、単なる経験値からの一面的な反対意見ではなく、データを活用した多面的思考から論理的に反対意見を組み立てる展開をデザインする。 | 尾崎 |
| 5-2 | 木村三津代 | 音楽 | 歌いつこう 日本の歌 『浜千鳥』 | 詩と音楽との結びつきや音楽を形づくっている要素とを関わりさせながら、どう歌うかについて思いをもって歌唱表現を行う。友だちとの意見交流の中での気づきを元に、実際に歌いながら自分の思いに合う表現を追究していく。 | 木村 |
| 6-1 | 松本京子 | 国語 | 「生きる」をテーマに 随筆を書こう 谷川俊太郎『生きる』 | 谷川俊太郎『生きる』をSTEAM化し探究したことを元に、自分の「生き方」を随筆に著す。その過程で自己との対話、文章との対話を繰り返すことで、論理的思考への自覚・探究心を高められるようにする。 | 松本 |
| 6-2 | 孕石泰孝 | 理科 | ヒトと環境 | これからの環境を考える時に、ヒトと自然との共生の視点は必要である。しかし、いざ実行に移すとすると、予想外の問題が出てくる。その一つの問題としてかつてあった日本住血吸虫症をテーマに、歴史も交え「ヒトと自然の共生」のあり方を多面的に検討する。 | 孕石 |

■研究の概要

本校では、2010年の開校以来、“考えることを考える”ミューズ学習を軸にして「論理的思考力」の育成をめざした研究に取り組んできました。また、一昨年度からは、STEAM化を手立てとする探究的な学習を通して、「クリティカルシンキングを発揮する子どもの育成」について研究を進めてきました。

今年度は、「クリティカルシンキングを身につけた子ども」「学びに自覚的になり、価値や意味を見出し、次の学びへと向かおうとする子ども」の姿を実現するため、改めて授業デザインに焦点化し、研究に取り組んできました。

研究発表会当日は、子どもの姿を通して皆様と共に研究を深めていきたいと考えております。多数の方のご参加をお待ちしております。また、教育関係者の皆様に加えて、本校の受験を検討されている保護者の皆様にも授業を公開しております。ご興味のある方は、本校HPよりお申し込みください。

校長 長戸 基

■後援 大阪府教育委員会

■申し込み方法

以下のサイトよりお申し込みください。

※締切：2025年1月24日（金）17時

<https://www.kansai-u.ac.jp/elementary/>

参加費 2000円

研究紀要・指導案等の資料は、研究発表会当日に公開・配布いたします。

| 公開授業② 10:50-11:35 (中等部J1~J3は10:50-11:40) | | | | | |
|--|-------------------------------------|-----------|---|---|---------------------|
| 学年・組 | 授業者 | 教科 | 単元名・教材名 | 単元の概要 | 協議会2 |
| 1-2 | 大場裕太 | ミューズ | くみだてるわざをゲットしよう ～新しい1年生に、 初等部を紹介しよう～ | 初等部を「人」「もの」「場所」などの視点で仲間分けし、初等部とは私にとって どんなところかをピラミッドチャートで構造化する。事実と主張が正しくつながっ ているか（妥当性や論理の整合性）を話し合う。 | 大場 |
| 2-1 | 西 勝巳 | 国語 | 論理を読むってどんなこと ～説明的な文章を通して～ 「ロボット」「あなのやくわり り」「にせてみます」等 | 低学年に論理を読ませるためにはテキストをどう扱うとよいか。説明的な文章を STEAM化の視点から取り上げる。本文の文章構成や内容について、書かれている情 報を分析し、証拠（根拠）を重視しながら、論理に沿った結論まで導き書けるよう にする。 | 西 |
| 2-2 | 山本直樹 | 生活 | いのちをまもる コウドウとは？ | 防災をテーマにSTEAM化し、探究を積み重ねた結果をまとめて、発表会を行う。そ の内容がしっかりと伝わるものになっているかを論理的に見直し、さらに完成度を 高める授業をデザインする。 | 山本 |
| 3-2 | 古谷夏奈 | 理科 | ものの重さの感じ方 | ものの重さの感じ方を体験する活動を通して、自分の感覚と実際の重さの差を自覚 することで、人間の感覚の曖昧さに気づかせる。その過程で、論理的思考への自 覚・探究心を高められるようにする。 | 古谷 |
| 4-2 | 安野雄一 | 社会 | 「宝」を未来につなげる ～大阪のぶどうづくり～ | 柏原市のぶどう作りをSTEAM化し探究してきたことを元に、生産・消費、流通、販 売、キャリア等の視点から見つめ、自身の生き方と関連づけて、産業をどう受け継 いでいくべきかを価値判断していくことで、児童の客観的且つ多角的に思考する力を 育むようにする。 | 安野 |
| 5-1 | 金本竜一 | 国語 | 文章を探究し、 自分の考えを書こう 『想像力のスイッチを入れよう』 | 探究の文脈を採り入れ、説明文自体を価値づけながら読む力の向上をねらう。探究 の成果とつなげ、根拠を大切にしながら自分の考えを話し合ったり文章表現したり する活動を通して論理的思考の自覚を促す。 | 金本 |
| 5-2 | 小森康裕 | 社会× 総合 | 未来につなげる ～私たちのSDGs～ | 「私のできるSDGs」をSTEAM化し、探究したこととつなげて、日本の産業の問題 点を論理的に解決する方法を探る。座標軸を使って、多面的思考を客観的に捉える 展開をデザインする。 | 小森 |
| 6-1 | 古本温久 | 算数 | データの整理と活用 | 日常のデータをSTEAM化して問いを見出す活動を通して、数学的な見方・考え方を 豊かにしつつ、クリティカルシンキングに関わる客観性の態度を向上させることを めざした授業をデザインする。 | 古本 |
| 6-2 | 東口貴彰 Steven Wong Simon Sylvan | 英語 | NZでの コミュニケーションを 豊かにしよう | NZでのコミュニケーションを豊かにするため、自ら伝えたい内容をSTEAM化し、 話題を即興的に広げるための素地を養う。また、自己の英語表現をクリティカルに 捉え、「換言力」を用いて相手に的確にそれを伝えるための基礎を築く。 | 東口 Wong Simon |
| J1C | 柳井光一 | 国語 | 小説「少年の日の思い出」 | 登場人物の心情やその変化について、人物像や描写を元にして考え表現していく。言 葉がもつ意味合いやニュアンスの違いを比較しながら、「なぜ登場人物はそのよう な行動をとったのか」「その行動にはどのような心情が込められているか」などを 能動的に考察し、「他者」を想像し理解する力の育成を目指す。 | 柳井 協議会1 |
| J2B | 中村明信 | 社会 | 日本の諸地域 関東地方・東北地方 | 1990年代に議論が活発となった首都機能移転問題について、「東北地方に首都を移 転するとしたらどこが一番適しているか」を過密の緩和、地方振興、災害への対応 力など多面的な視点で考察し発表する。本単元を通じて、地理的視点で都市と地方 の特徴や課題を考察する力、論理的に自分の考えを発表する力の育成を目指す。 | 中村 協議会1 |
| J2C | 大濱由紀子 | 保健 体育 | 地震災害からいのちを守る行動 ～地域避難所運営について考えよう～ | 地域避難所運営に関するカードゲームを通して、グループ内でのコンセンサスを図り 課題解決を目指す。その際、地域の生活背景や様々な人の立場などを想像し理解す る中で新たな問いや課題を発見し、今後起こりうる自然災害に対して、自分のいの ちや他人のいのちを守る行動につなげる意識や自助公助の精神の育成を目指す。 | 大濱 協議会2 |
| J3A | 萬田行治 | 数学 | 三平方の定理と空間図形 | 空間図形をイメージし、三平方の定理を利用して問題を解く能力を育成する。また、 生徒同士が能動的に問いを見だし、協働的に課題を解決する活動を通じて、 コミュニケーション能力、実行力、協調性、課題解決能力や、学習者が能動的に学 習する力の育成を目指す。 | 萬田 協議会2 |
| J3B | 玉田哲也 | 英語 | Let's Read 2 "Power Your Future" | エネルギー問題に関する英語の説明文を読んで概要を理解し、それぞれのエネルギー 源の長所と短所を英語でまとめる。また、生成AIが作成したエネルギー問題につ いての意見文を参考に、思考ツールを活用しながら、問いをもって自らの考えを深 め、表現していく力の育成を目指す。 | 玉田 協議会2 |
| J3C | 福島大樹 | 理科 | 「環境」に関する課題研究 の発表 | 「自然界のつり合いを考える上で、私たち人間がどのように関わっていくことが大切 であるか」について、環境保全や科学技術発展のあり方などを含め、科学的に考察 し判断する態度を育成する。また、準備の段階から聴衆の質問を想定して発表する ことを意識し、表現力とコミュニケーション能力の育成も目指す。 | 福島 協議会1 |



関西大学初等部

〒569-1098 大阪府高槻市白梅町7-1

関西大学高槻ミューズキャンパス

(代表) 072-684-4312